

サポートルームだより

令和5年9月4日
大田区立六郷小学校
校長 伊藤 均

長い夏休みが終わり、2学期が始まります。子どもたちの元気な声が学校に響き、活気とパワーが戻ってきました。長い夏休みの出来事はそれぞれの子どもの心に残ることでしょう。これから思い出のたくさん詰まった話を聞くのが楽しみです。また、子どもたちの様子から学習のがんばりもうかがえました。2学期も大きな成長につながるよう指導していきたいと思います。今学期もご協力よろしくお願ひいたします。

2学期の予定

9月11日（月）

通室開始

12月11日（月）

通室終了

12月18日（月）～22日（金） 個人面談予定



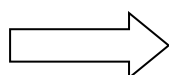
リフレーミングについて

リフレーミングとは、マイナスに感じる言葉を、プラスの言葉に置き換えることです。ちょっと見方を変えればマイナスもプラスにとらえることができます。サポートルームでも授業中の声掛けで使っています。ご家庭でも実践してみてください！



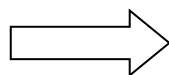
子供向けリフレーミングの例

おとなしい



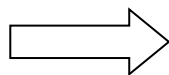
おだやか

うるさい



元気がある

しつこい



ねばりづよい

サポートルームの小集団学習紹介

「教えてカラー」

「説明する人」と「聞いて塗る人」に分かれて活動を行いました。活動のめあては、「説明する人」は声の大きさを考える・分かりやすく伝える・周りの反応を見ること、「聞いて塗る人」は、集中して聞く・分からないことは質問する・周りを見てペースを合わせることです。

「説明する人」は前の席に座り、見本を見ながら塗る場所と色を全員に伝達します。「聞いて塗る人」は、指示された部分を塗ります。言われたことが分からないときには、その場で質問をします。「説明する人」は、周りを見て塗る人の進み具合を見ながら次の説明をします。全員が終わったことを確認できたら答え合わせをします。

活動では説明が伝わらなかったり、分からないことを質問できなかったりする様子もありましたが、慣れてくると自分から聞く様子が見られました。また、聞くときには説明を聞き漏らさず注意深く聞くこともできました。



「きくきくタイム」

集中して聞く・聞いて覚えることをめあてに活動に取り組みました。活動は、最初に教員が問題を読みます。児童は教員からの合図で答えをホワイトボードに書き、「せーの。」で見せます。見せるときに掛け声を聞いておらず、見せるときになかなか揃わない様子も見られましたが、回数を重ねると掛け声を聞いて揃うようになりました。

実際に出した問題の一部です。問題の出し方も少しずつ難しくしました。

【問題】

【答え】

① このなかで、動物はどれでしょう。 とけい、きのこ、サイ、パトカー、(いす)	サイ
② このなかで、黄色のものはどれでしょう。 空、黒板、トイレ、ひまわり、(テレビ)	ひまわり

※学年により () の言葉を増やす場合もあります。

レベル1・・・先に問題文を読む。

レベル2・・・選択肢の後に、問題文を読む。or 選択肢を5つにする。

レベル3・・・「このなかで、OOでないものは？」



教員が読むお話に「OO」という言葉がいくつ出てくるか数えて答える問題です。指で数えたり、「正」の字を書いて数えることで正確にキーワードを数えようとする様子が見られました。

レベル1・・・「ぼうし」「バス」などの単語

レベル2・・・「野菜の名前」「魚の名前」など複数のもの